

共済金支払い事例

火災・災害共済

屋内配線のショートによる自宅火災 70代 男性 OB

土曜日の朝方に自宅建物の1階和室部分から出火し、消防活動虚しく全焼してしまいました。原因はタンス裏側のコンセントがショートしたのですが、重大な過失ではないことが認められ、共済金を受けることが出来ました。建物は満口の29口加入しており、動産も夫婦2人だけでしたので10口加入していました。高齢のため今後の生活が不安でしたが、共済金のおかげで何とか生活再建の見込みが立ちました。

給付内容

建物 1,450万円(50万円×29口(満口))
 動産 500万円(50万円×10口)

合計 1,950万円

※ 同事例における新火災共済(R8.7～)の保障額(参考)

建物:1450万円(現行同額)

動産: 500万円(現行同額)

合計 1,950万円+臨時費用195万円=2,145万円

台風による暴風・竜巻被害

50代 男性 事務官

台風の暴風域からは外れていたのですが、突如として発生した暴風(竜巻?)により、自宅屋根の瓦がはがれ、外壁のいたるところに飛散物が刺さっていました。窓ガラスが割れたため、家財も被害を受けました。建物が「1/3以上の損害」、動産が「1/3以下の損害」との判定を受け、共済金を受け取ることが出来ました。

給付内容

建物 70.2万円(1.8万円×39口(満口))
 動産 18万円(6千円×30口)

合計 88.2万円

※ 同事例における新火災共済(R8.7～)の保障額(参考)

建物:117万円(1950万円×6%(20%以上50%未満の損害))

動産: 30万円(1500万円×2%(20%未満の損害))

合計 147万円+臨時費用14万7千円=161万7千円

地震による自宅の損壊

80代 男性 OB

能登半島地震の時、自宅周辺の震度は「6強」でした。子どもの家族を含め、みんなで正月番組を見ていた時に突如として強烈な揺れに襲われてあっという間に家が傾き、とにかく外に逃げ出すので精一杯でした。建物・動産ともに「全壊・全損」との判定を受け、風水害等における共済金の上限額を基準とした共済金を受け取ることが出来ました。

給付内容

建物 360万円(6万円×60口(満口))
 動産 90万円(6万円×15口)

合計 450万円

※ 同事例における新火災共済(R8.7～)の保障額(参考)

建物:600万円(3,000万円×20%(70%以上の損害))

動産:150万円(750万円×20%(80%以上の損害))

合計 750万円+臨時費用75万円=825万円

生命・医療共済

アキレス腱断裂による入院・手術

20代 男性 自衛官

演習中に地げきを超えようとした際、足を踏み外して片脚で着地した拍子に左脚のアキレス腱に強い痛みを感じて動けなくなり、病院に後送されました。その後、アキレス腱が完全に断裂しているとの診断を受けて入院し、縫合手術を受けました。アキレス腱断裂の場合、最近では4～5日で退院出来ることが多いらしいのですが、私の場合は予後があまり良くなかったらしく、8日間の入院となりました。その後、リハビリを含めて治療に半年程度掛かり、色々な出費がかさみましたが、防生協の共済金が受け取れたので、大変助かりました。

給付内容

入院共済金 72,000円(3,000円×3口×8日間)

手術共済金 90,000円(3万円×3口)

合計 162,000円

腱鞘炎による入院・手術

40代 男性 自衛官

春先頃から左手が痺れて指が痛み、また、手首に腫れも出てきたことから受診した結果、「左手化膿性腱鞘炎」と診断され、入院と手術を受けました。思っていたより手術後の治療に期間が掛かり、合計32日間の入院となりました。入院期間が1ヶ月以上にもなった影響で、差額ベッド代もかさみ、日用品や雑貨の出費も多くなりましたが、生命・医療共済に満口加入していたおかげで予想以上の共済金が受け取れて満足しています。

給付内容

入院共済金 384,000円(3,000円×4口×32日間)

手術共済金 120,000円(3万円×4口)

合計 504,000円

憩室炎による入院・手術

50代 女性 OB

延長プラン60ご利用者

朝起きた時に左下腹部に痛みを感じ、発熱もあったことから受診してCT検査を受けたところ、「腫瘍性S状結腸憩室炎」との診断を受け、そのまま入院して手術を受けました。手術の予後は良かったのですが、合計14日間の入院となりました。自宅から離れた病院だったため、家族の移動などに予想外の出費がかさみましたが、退職者用の生命・医療共済(延長プラン60)に2口加入していたおかげで負担が軽くなりました。

給付内容

入院共済金 84,000円(3,000円×2口×14日間)

手術共済金 60,000円(3万円×2口)

合計 144,000円

腰部ヘルニアによる入院・手術

50代 男性 OB

延長プラン60ご利用者

現職時代から腰痛には悩まされていたのですが、退職後に下肢に痺れが出てきて感覚が無くなる時があったため受診したところ、「腰部脊柱管狭窄症」との診断を受け、その1週間後から入院して手術を受けました。合計23日間の入院となりましたが、退職前に防生協の方から「延長プラン60」を勧められて加入していたおかげで現職並みの共済金が受け取れて安心しました。

給付内容

入院共済金 207,000円(3,000円×3口×23日間)

手術共済金 90,000円(3万円×3口)

合計 297,000円

共済金支払い事例

退職者生命・医療共済

本人・配偶者コース

80代 男性 OB

70代 女性 配偶者

退職時に退職者生命・医療共済に「本人1口」「配偶者1口」「入院保障日額5,000円」のコースで申し込んでいました。70歳を過ぎたあたりから、夫婦ともども病気がちになり、私が胃や腸の消化器系疾患で合計426日間、妻は股関節やひざ関節といった整形外科系で合計694日間も入院しましたが、退職時に一時払いした掛金の2倍以上の入院共済金を受け取ることが出来て、とても助かりました。

給付内容

入院共済金

ご本人：2,130,000円

配偶者：3,470,000円

合計 5,600,000円

本人・配偶者コース

70代 男性 OB

70代 女性 配偶者

自衛官だった夫が70歳を前にして認知症にかかり、6回にわたり長期の入院を繰り返した後に昨年亡くなりました。配偶者である私自身もパーキンソン病の治療で10回以上の入退院を繰り返しており、経済的に厳しかったのですが、夫が退職時に加入していた退職者生命・医療共済の入院共済金に加え、夫が死亡した時にも死亡共済金を受け取ることが出来て本当に助かりました。

給付内容

入院共済金

ご本人：3,175,000円

配偶者：1,880,000円

死亡共済金(本人):1,000,000円

合計 6,055,000円

本人コース

70代 男性 OB

私は元自衛官の妻です。夫は先日くも膜下出血が原因で他界しましたが、それまでも主に消化器系の病気で長期の入退院を繰り返しており、夫が退職時に加入していた退職者生命・医療共済の限度日数1,000日に達してしまっていました。夫が亡くなるまで入院時の介助などに出費がかさんでいましたが、多くの共済金をいただく事が出来たので、金銭的な負担は相当軽くなりました。今は夫を静かに送ることが出来てとても安心しています。

給付内容

入院共済金 5,000,000円

死亡共済金 1,000,000円

合計 6,000,000円